



# improvement

インプルヴメント：向上-改善

2017年6月

Vol.26(26版)

### 【基本理念】

我社は、成長と危機の歴史を教訓とし、常に企業の本質を問い、明日への飛躍をめざす。

### 【環境方針】

環境との調和を最優先とした行動を推進し、地球に優しい企業を目指し、未来社会の創造に貢献する。

株式会社

三田商會

発刊責任者

栢山 義和

### 産業革命の変遷

#### 第一次産業革命 (イギリス)

18世紀

内燃機が中心＝蒸気船・鉄道・毛織物工業・綿工業  
製鉄技術の改良

#### 第二次産業革命 (アメリカ・ドイツ)

20世紀初頭

電気による自動化  
軽工業→重工業  
石炭→石油・電気  
大農園(綿花)・黒人奴隷  
ニューイングランド地方(移民)

#### 第三次産業革命

20世紀後半

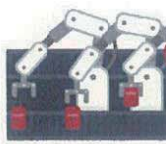
コンピュータによる自動化  
エネルギー革命  
人口と産業の成長  
有機化合物の進化  
ロボット化  
三次元造形(3Dプリンタ)

#### 第四次産業革命

2015年頃

AI・IOTによる自動化(日本は遅れている)  
コア技術(AI・IOT・次世代ロボット、ビックデータ)  
これからの中小企業＝低価格で導入が簡易なシステム開発が費用不可欠  
第四次産業革命＝低コスト・高品質なモノやサービスを生み出す

- ・ITと融合して
- ・オーダーメイドが当たり前になる
- ・人間とロボットが共に働く時代がやってくる



### ◆日本と世界の経済状況

当社の業績は、工作機械を中心に設備投資が伸びていて、まずまず順調に推移しています。日本全体を見ると、バブル期より



黒田社長

りも人手不足が深刻化してしまっています。人手不足を補うため、また、合理化を進める必要から、さらに設備投資が進む可能性がありそうです。ハイブリッド車などを始めた自動車の燃費向上により原油価格は高止まり。日用品は値下がり傾向。というふうな、今後、値上がりするものと値下がりするものが分かれてくると思われる。中国ではドルを売って人民元を買い戻す為替介入が繰り返され、経済的にも影響を受けることが考えられます。

◆第四次産業革命  
そのような中、産業界では、第四次産業革命の時代が来ていると言われています。世の中の流れを読み、どう対応していくか。自動車関連産業は自動運転が進み、それに関する設備投資が進んでおり、ビルメーカーにおいては商品を複数のメーカーで共同配送しています。新しい技術や発想が新しいサービスをすでに生み出しています。第四次産業が発達してくると、人口が減少しても自動化による

## 第四次産業革命 新しい時代の波に乗ろう！

新たな産業がますます発展し、むしろ、拡大するのではないかと思えます。そこには新しいチャンスもあるのではないのでしょうか。  
AIやIOTという大手企業が先行イメージがありますが、中小企業だからこそ、それに組み込み、新しい発想やアイデアを組み合わせることで、大手企業よりも成功できる可能性がある時代が第四次産業革命の時代であるような気がします。  
当社でも、いち早くこの最先端の技術に対応し、時代の波に乗り遅れないように一致団結協力していきましょう。

# 全社的なレベルアップ

## 伸びる人をどんどん伸ばす



土肥 専務

ないように、十分に対策を立ててください。時にはお客様から情報を提供して頂くなど、協力的体制で臨みましょう。

### あいさつが環境を変える

本社では4月に新入社員1名、5月に若手の中途社員を1名迎えました。

**上期の業績**  
北陸におけるメーカー・商社の景況感としては、石川、富山、福井の順ではないかと感じます。当社の業績としては、52期の半期が終わり、本社が足を引っ張っている状態となりました。ただ、引き合いの案件や見積依頼など受注につながる可能性が増えてきており、何とか目標に近づくことができそうです。

日本経済では、電子部品や半導体の設備投資が増えており、日立国際や村田製作所、パナソニックなどが好調で、これらの企業に関連する商品の納期には、時間がかるようになってきました。営業は納期遅延を起こさ

### レベルアップを目指す

「な」よりも「の」

なおすよりのぼす

「し」よりも「ほ」

しかるよりほめる

「お」よりも「つ」

おもいつきよりつつける



これまでは全社的にレベルを上げること考えていましたが、例えば、元気な人はどんどん元気良く、良いところを伸ばしてもらおう。伸びる人はどんどん伸びてもらい、回りの人を引っ張ってもらい、結果的に全体の底上げができないかと期待しています。

### かけた情けは水に流せ

#### 受けた恩は石に刻め

長野県上田市にある前山寺の石柱に刻まれている言葉です。人はとかく自分の施しに見返りを期待してしまうものですが、施すことに徹しなさい。ただし、自分が受けた施しは絶対に忘れてはいけない、という言葉です。若い人にはぜひこういうことを意識してほしいものです。

# 新しい仲間です



堀江 輝一



杉原 庸介

現在は先輩の営業に目替わりで同行して、営業活動の流れやメーカー様との同行で商品のことを勉強しています。グループの配属が決定したら、そのグループ内の先輩・上司と同行していきます。

当社が取り扱う商品アイテムは非常に多く苦労しています。

メーカー様と同行していても、話の内容が分からず、悔しい思いをすることがあります。今は先輩や上司との同行なので、分からないこともカバーしてもらえますが、今後、1人で営業に行くまでには、しっかりと商品知識を身につけていきたいです。今年の目標は中国語と英語の検定で準1級を取ることで、将来的には海外で活躍することが出来る社会人になりたいです。どうぞよろしくお願い致します。

5月に入社し、現在は物流部門で商品管理の仕事をしています。入荷した荷物の受け付け、受注した商品の発送準備・発送、商品配達の同行など、忙しい業務をお手伝いしながら仕事を覚え、商品について勉強しているところです。

入社からEが浅いため、まだ配属先が決まっていませんが、今後、担当が確定したら、お客様のことや商品のことをもっと深く勉強していきます。今年の目標は、フォークリフトの運転資格を取ることです。物流部門では、パレット積み商品の出入庫作業があり、その際にフォークリフトを使用するので、ぜひその資格を取得したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



## 目に見えない数字を「見える化」する



京免取締役

### 今の時代に思うこと

昭和末期（1990年代）のバブル景気時、私が勤務していた支店の地域は市街化調整区域であり、家が建たない、企業の進出もない地域でした。他の支店ではバブル景気に乗って好調な中、世の中の大きな波には勝てないと感じていました。

平成に入り、バブルは崩壊し、日本の製造業は人件費の安い海外へ移管し始め、日本のものづくりは空洞化していきました。

その後、2008年に阪神淡路大震災、リーマンショック、東日本大震災と日本の経済がゆるぎような災害や経済の変化がありました。企業経営に大きな影響を及ぼすような外的要因があった時、企業はお金を持たな

ければとても弱く、どのように資金調達をするかで会社の生き残りが決まってくるのです。

今、海外では、個人も国レベルでも貧富の差が激しく、経済も産業も不安定です。

国内を見ても、大手家電メーカーの失墜など経済的には良い要素があまりありません。

### どう生き残るか

しかし、この中でどう生き残るのか。

経営としてのキーワードは

#### ・経営計画

#### ・管理会計

この2点だと思えます。

経営計画は、現実の数字を見ながら、売上と利益の計画を立てるものです。数字を見える化するものであり、まずはこれがないと始まりません。決算書は株主や金融機関に見せるために決まったルールで作成し、誰がやっても同じ結果になります。

一方、管理会計は勘定科目にない、目に見えないものを見える化することです。私は特に無形固定資産に注目しています。

帳簿上ではあまり重要ではない科目ですが、人材、技術、ネット

トワーク、経営理念など、重要なポイントがここには含まれていないと思っています。

目に見えないものを具体化し、数字に表すことが、

これからの経営に必要なようになってくると考えています。

### 経営センスを磨く

10年前から部門別の月次損益計算書を作成しています。この表自体は、個人の情報も入っているの公開していませんが、

このような部門損益の考え方を学ぶ研修を行います。これからは、経営者だけでなく、各部署長も固定費と変動費のバランス感覚を養うことが大事です。売上金額にだけ注目するのではなく、売上にかかる固定費や変動費などの経費を数字で見、売

上の分析をしていくことで、100

年続く会社を支えていくってほしいものです。



## 100年続く企業を創る



京免取締役

### 昨日とは違う今日

当社は2019年に70周年を迎えます。業績はここ数年間、ほぼ横ばいで推移しています。

今だけを考えればこのままでもよいのですが、では、100周年を目指す場合はどうでしょうか。

この先30年余り、今のままで何とかやっていけるでしょうか。未来の結果は誰にも分かりませんが、人口減少や技術の進歩、

世界情勢の不安定さなど、経済に与える影響は大きなものがあります。その中で30年余りを継続していくとなると、今と同じことをしては、継続は難しいのではないのでしょうか。

### 新しい工場のチャレンジ

一昨年10月に中長期計画の第2次3カ年がスタートしました。

売上は目標に対して未達の状態ですが、今年、新しい仕事を受注できそうです。福島県の復興に関するプロジェクトの一環で、設備の納品のみならず、設置工事などもトータルで請け負うことを打合せしています。

この仕事に関わることができたのも、富山県の一般建設業の「鋼構造物工事」および「機械器具設置工事」の許認可を受け

たからです。

建設業の許認可を受けることは今期の目標の1つとしていましたので、まずは達成感を感じています。ここに至るまでは、

情報収集や認可後の可能性を検証、そして申請業務など、誰もやっていないことをゼロから勉強して実現しました。

建設業の許認可は我々のような卸業の業界では珍しく、新しいことをやっていく第一歩となりました。

これにより、物販だけでなく、設置工事など仕事の幅が広がることとなります。お客様にはワンストップのサービスを提供することができ、今後当社の強みとなっていくと信じています。



# 第52期 全体会議



新しい仲間がかわり、  
52期折り返し  
目標達成に向け全員の  
力を結集!

4月15日(土)午後3時より、  
本オークスカナルパークホテル  
にて社員70名が参加して第52期  
春の全体会議を開催しました。  
会議は黒田社長の挨拶の後に  
「入社してからの振り返り」とこ  
れからについて」と題し、社員か  
ら年代表的代表8名の方から発  
表してもらいました。



初めての試みでしたがそれぞ  
れの方の会社に対する思いが伝  
わりました。次に今年の永年勤続  
表彰を行い、全員で祝福しました。  
全体会議終了後、午後6時より  
新入社員歓迎会を開催しました。

平成29年永年勤続表彰者  
勤続30年 村田 一幸  
勤続30年 南 芳彰  
勤続20年 八町 真一  
勤続10年 牛島 弘一  
勤続10年 宇津 尚史  
勤続10年 成川 佳織  
これからも、よろしく  
お願いします。



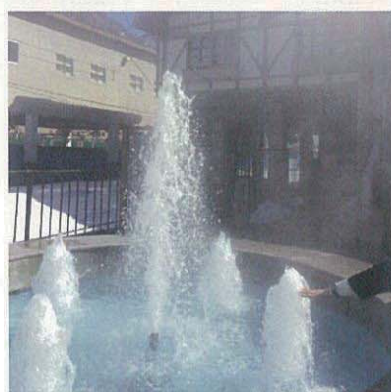
## 推進委員会報告



大屋委員長

今期推進委員の活動として挙  
げていました規約の改定につい  
て、皆様のご意見を聞かせて頂き  
ました。ご協力ありがとうございました。改定規約については後日  
公表させていただきます。

今期前半の行事として、2月  
25日に宇奈月方面への小旅行を  
行いました。お天気にも恵まれ、  
思い思いの時間を過ごして頂き、  
帰りには観光列車に乗車し、車窓  
から見える地元富山の大自然を  
満喫してまいりました。



また、6月17日に実施予定の  
かまぼこ作り体験の参加を募  
ったところ、30名を超える参加人  
数になりました。こちらも富山県  
ならではの細工かまぼこを作る  
体験ということで、皆さんに楽し  
んでもらえればと思っています。

今後、仕入れ先様を招いてのポ  
ーリング大会、家族懇親行事も控  
えております。皆さんのたくさん  
の参加をお待ちしております。

会社側からの要望として、営業  
車の清掃チェックがあります。6  
月から社用車全車禁煙がスタ  
トしたこともあり、社用車だけ  
なく、会社の物を大切に扱う意  
識づけになればと思っています。6  
月末より全社実施したいと考  
えていますので、ご協力をお願い  
いたします。

そして、朝の掃除は、気持ちよ  
く仕事ができる環境作りと考え、  
決められた時間内にスムーズに  
行って頂くよう、重ねてお願い  
いたします。

